



おうめ  
東京都青梅市立 **第六中学校**

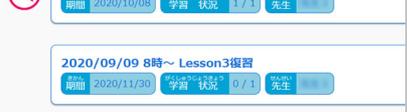
# 見守りと声かけが学習意欲を育てる

## ～ eライブラリを介したコミュニケーション～

小規模校の良さを活かしたきめ細かい指導を大切にしているという青梅市立第六中学校。

eライブラリを介して、生徒の様子を共有し、指導に活かすこともあるという先生方に、校内・家庭でeライブラリを活用し、感じたメリットを伺いました。

### 「学習指示」で定期テスト前の復習



◀ 「OK」の数を増やして自信を積み上げます。

eライブラリの「学習指示」を利用し、テスト前に取り組んでほしい教材を、各教科の担当が課題として出しています。

提出必須にはしていませんが、自習時間に取り組む生徒もいますし、家庭でがんばっている生徒もいます。教員は、進捗を確認しては、「**昨日も進んでいたね**」と**生徒に声をかけ、励まします。**

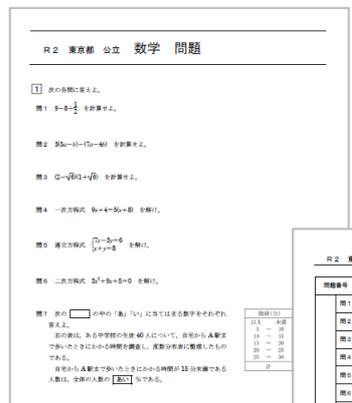
教員同士でも「〇〇さん、がんばっていますね」と、eライブラリを見ながら、生徒のことをよく話します。eライブラリがパイプになり、**学年・教科を超えた情報共有の手段として役立っています。**



ICT担当 1年学年主任  
平林 知子 先生

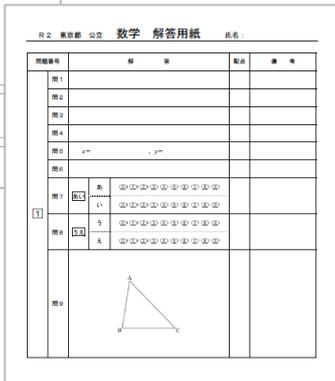
**ポイント** 「学習指示」の進捗を、生徒への声かけや先生同士の情報共有に活かす

### 高校入試過去問を、問題作りの参考に



◀ 10年分の過去問がデータベース化されており、先生にとってはアイデアの宝庫。

解答用紙があるので、入試直前の予行演習にも。



eライブラリの単元別プリントや高校入試過去問を、日常のプリント作成や、テスト問題作成の参考にしています。

過去問データベースには各都道府県の問題が搭載され**問題量が豊富にあるうえ、絞り込み機能がとても使いやすい**と、**ほしいデータを簡単に探すことができます。**

プリント教材や過去問は一般に様々ありますが、eライブラリであれば、単元別プリントも、過去問も、ドリルとその進捗確認も、「eライブラリ」という**一つのシステムにまとまっています。**とても使い勝手がよく、**教材準備の効率アップにつながっています。**



2年担任 数学科  
烏山 凌介 先生

**ポイント** 豊富な問題データベースから、ほしいデータを簡単に探せる

# 目に見える成果を楽しみながら学習

定期テスト前の自習の時間に、eライブラリでテスト勉強をする生徒の様子をご紹介します。



パソコン教室に集まった生徒たちがeライブラリにログインすると、すでに先生からの課題に取り組んだ形跡が。課題の進捗を確認されてきた先生によると、家庭でコツコツと、eライブラリで学習している生徒もいるそうです。

生徒たちは「ふりかえり」の木の成長を友達と比べ合いながら、課題の続きを始めます。

ログインすると、トップに「先生からの指示」が大きく表示されます。▶



単元を表すタイルに、学習すると色が塗られていく「タイルマップ学習」も、生徒の楽しみのひとつです。

このように、**eライブラリは学習の成果をさまざまな方法で可視化します**。また、「先生、葉っぱが出ました!」と、**生徒と先生が木の成長を一緒に楽しむ**というコミュニケーションが自然と生まれています。

## 今後の展開

- 今回は定期テスト前の復習用に「学習指示」で課題を出したが、今後、eライブラリを教科の特性に合わせて年間計画に入れ、授業の一環として課題を出したい
- 分散登校や出席見合わせが起こったときに、登校している生徒と自宅にいる生徒が、同じ学習ができるツールとして活用したい（学習の保障）

## インタビュー eライブラリは、学習意欲を育てる教材

学校経営において、生徒一人ひとりが意欲をもって学習に取り組む雰囲気づくりと、きめ細かい指導を重視しています。

教員は、「課題になかなか手を付けない生徒」に目を向けがちですが、eライブラリの運用を始めてみると、**学習履歴などから、「意欲的に、自ら学習を先へ先へと進めたい生徒」にも、より気づきやすくなりました。**

学習するほど「ふりかえり」で芽が出、枝が育っていくように、eライブラリは生徒の学習意欲も育てる教材だと思っています。



校長 吉田 稔 先生

※2020年4月リリースのeライブラリ最新版を利用しています。